

## 原稿未着演題

抄録集より転載

### ジナセフの耳鼻科領域の有用性

杉田麟也，河村正三，藤巻 豊，田中幹夫，内田利夫，板橋隆嗣，和田昌士，  
渡辺 学（順天堂大）  
出口浩一（東京総合臨床検査センター）

注射用セファロsporin系抗生物質“ジナセフ”の耳鼻科感染症に対する有用性を検討した。基礎的には本剤 1.5 g を単回静注し口蓋扁桃，上顎洞粘膜濃度を測定した。臨床的には原則として1.5 g × 2/dayを点滴静注あるいはone Shot静注し効果を判定した。また治療の際の参考として主要な臨床分離株について最小発育阻止濃度を測定，治療の参考とした。

### 難治性中耳炎の細菌学的検討

岩沢武彦（札幌通信病院）

難治性中耳炎の場合は，Opportunistic infection とも関連して基礎疾患，合併症，感染免疫能の低下などの生体宿主側の条件に加えて，病原菌の耐生上昇，複数菌感染，菌交代などが大きく関与する。なお、耳漏分離のcoagulans陽性ブドウ球菌，*P. mirabilis*，*P. aeruginosa* に対する各種抗菌性物質の抗菌力も調べたので報告した。

### 急性陰窩性扁桃炎に対するDL—8280の薬効評価—

#### Amoxicillinとの二重盲検比較試験—

岩沢武彦他（札幌通信病院）

DL—8280は，グラム陽性，陰性菌に対して強い抗菌力を有し，しかも吸収，排泄が優れ，また安全性の高いオキサジン系の新しい合成抗菌性物質として開発された。今回，急性陰窩性扁桃炎に対するDL—8280（1日600mg分3）の有効性，安全性および有用性を客観的に評価する目的で，半合成PC剤Amoxicillin（1日750mg分3）を比較対照薬として二重盲検試験を行い解析した結果，有意の成績がえられたので報告した。